

# 令和4年度第1回さいたま市都市農業審議会

## 議事要旨

### 1. 日時

令和4年7月22日（金）10:00～11:15

### 2. 場所

議会棟2階 第7委員会室

### 3. 出席者

区分	人数
さいたま市都市農業審議会委員	12名
事務局職員（農業政策課）	6名
担当課職員（農業環境整備課）	1名

※委員については、別紙「委員出欠名簿」参照。

### 4. 公開又は非公開の別

公開（傍聴者 0人）

### 5. 開会

事務局より会議開催にあたり、次のことについて報告があった。

- ①定足数を満たしていることから、本日の審議会が成立していること。
- ②さいたま市情報公開条例第23条により会議は原則公開となっていること。
- ③傍聴者は、現在のところ0名であること。

### 6. 委員及び事務局紹介

### 7. 委員長・副委員長あいさつ

### 8. 議題

#### （1）議題1 農業振興ビジョン2021重点事業の進捗状況について

事務局より、資料1をもとに説明後、質疑応答が行われた。

#### 【質疑応答】

- ①5ページ「スマート農業の推進」について、令和3年度の取組にあるスマート農業振興事業の導入支援3件の内容について伺う。（西形委員）

GPSトラクタ、GPSタブレット、GPS田植機の導入を支援した。  
(事務局)

- ②全体的に事業は順調である。県でも昨年度地域版の振興計画を作成したところであり、県と共通の事業もあり参考としている。5ページ「スマート農業の推進」の取組のなかで、作成した経営モデルとは、施設園芸など類型ごとかエリアごとか伺う。(福島委員)

見沼グリーンセンターの温室を改修し、環境制御付き水耕栽培でサラダホウレンソウとパプリカの試験栽培を実施しており、3年間の実績をもとにニーズを取り入れた経営モデルを作成した。(事務局)

- ③2ページ「地場産農産物の新規加工品数」について、令和3年度実績21品の内容について伺う。(高本委員)

令和3年度は、さいたま市の20周年記念事業にあわせ、市のシティーセールス部門と連携し、地元農産物を使用した加工品の商品化を推奨した。例えば、紅赤を使用したパウンドケーキやチーズケーキ、ヨーロッパ野菜を使用したミネストローネやケールうどん、いちじくを使用したロールケーキ、ブルーベリーを使用したタルトなどを商品化した。(事務局)

今後も新規加工品の推奨に期待したい。(高本委員)

- ④6次産業や就農に興味がある学生が多く、インターンシップなど体験できる取組などあるか。(本山委員)

さいたま市では見沼グリーンセンターにおいて、就農に向けた就農研修を実施している。インターンシップというより、就農希望者向けだが、週1回グリーンセンター敷地内の圃場にて、栽培実習や農業機械操作の研修を実施している。(事務局)

ほかに、見沼グリーンセンターで実施している援農ボランティア事業もあり、農家の手伝いなど協働している事業もある。(下村委員)

- ⑤1ページの「賃借権等の設定面積」の実績が目標を大幅に超えている要因について伺う。(高柳委員長)

見沼区膝子、岩槻区横根の地域「さいたま中央地区」にて土地改良事業を実施しており、昨年度、人・農地プランの実質化を図り、中間管理事業を利用した利用権設定が増えたことが要因である。(事務局)。

市にて事業推進して頂いているところだが、他の地域でも地域の話合いが進みつつある地区もあり、引き続き推進をお願いしたい。(福島委員)

西区馬宮地区や岩槻区野孫地区など水田地域において農業委員さんを中心に活発に推進していただき、人・農地プランの実質化も進み始めている。(下村委員)

⑥農地の集約が進み、規模拡大した経営体もあるのか。(高柳委員)

現状、出し手が中間管理機構を通じ、自分で借りているものが多い。今後、段階的に集約を進めていければと思う。(西形委員)

⑦3 ページ「遊休農地面積」について、近隣の見沼田圃内では、土地改良した農地は水はけの悪い農地が多く、作物が作れなくなってしまう懸念が強い。遊休農地の解消、農地の保全の考え方について伺う。(笠原委員)

市では農地貸借のマッチングを支援している。農地が活用されていないようであれば、農地を探している新規就農者に紹介することも出来る。遊休農地になる前に、制度を利用していただけるよう周知に努め、まずは農地流動化し、担い手に耕作してもらうことを推進していく。今後も埼玉県、農協、農業委員会と連携し、対応を検討していく。(事務局)

見沼田圃は貴重な資源であることから、保全を支援する団体など応援したい。(高本委員)

## 9. その他

事務局より、下記の通り報告があった。

- ・本年度第2回都市農業審議会は日程が決定しだい、連絡する。

## 10. 閉会

### 問合せ先

経済局 農業政策部 農業政策課 農業政策係  
電話 048-829-1376

令和4年度 さいたま市都市農業審議会 委員名簿

区分	所属団体等	役職等	氏名	備考	出欠
学識経験者	東京農業大学	食料環境経済学科 教授	高柳 長直	委員長	出席
学識経験者	人間総合科学大学	人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科 講師	本山 陽子		出席
学識経験者	埼玉県	埼玉県 さいたま農林振興センター所長	福島 恵美子		出席
農業者	さいたま市農業委員会	会長	西形 知行		出席
農業者	さいたま農業協同組合	女性部 中部ブロック ブロック長	磯部 光枝		出席
農業者	南彩農業協同組合	女性部 部長	桑原 由枝		出席
農業者	さいたま市女性農業者 連絡会	会長	小島 隆子	副委員長	出席
農業者	さいたま市認定農業者連絡 協議会	会長	笠原 勇		出席
農業関係 団体	さいたま農業協同組合	代表理事組合長	清水 節男		欠席
農業関係 団体	南彩農業協同組合	代表理事組合長	菊池 義雄		欠席
事業者	イオンリテール株式会社 北関東カンパニー	エリア政策推進チーム チームリーダー	平井 一巳		欠席
事業者	株式会社大宮中央青果市場	総務部 執行役員	久家 慶子		出席
公募			高本 正広		出席
公募			藤岡 佳奈恵		出席
職員	さいたま市	経済局理事兼農業政策部長	下村 勝己		出席